



東地中海地域ニュース

トルコ：トルコ軍に対する北イラクへの越境攻撃許可の延長に関する国会審議 (10月8日付現地各紙)

1. 昨年10月に1年間の期限つきで国会承認された「トルコ軍に北イラクへの越境攻撃を許可する閣議決定」を更に1年間延長するため、国会で審議が開始された。延長にはクルド系の民主社会党(DTP)以外の政党は賛成する見込みであり、閣議決定の国会承認は確定視されている。
2. アフメット・テュルク DTP 党首は、「戦争のための閣議決定ではなく、平和のための法律が制定されていたなら、今回の戦闘で大勢の若者が命を失うことは無かっただろう。今回の越境攻撃許可の延長は、PKK 問題の解決にはつながらなければいけず、更なる流血をもたらし、民主主義の後退を招くことになるだろう」と述べた。
3. なお、10月3日に発生した PKK 軍基地襲撃に関して、エルドアン首相は予定したモンゴル訪問を中止し、滞在先のトルクメニスタンから急遽トルコに帰国した。その後、アンカラ郊外で行われた死亡した兵士の葬儀に出席した。同首相は記者団に対し、「もはやテロリズム非難の声明を発出しているだけでは不十分である。社会が一丸となって、分離主義テロリズムを克服するために何をすべきかを考えねばならない」と述べている。